

「インフルエンザワクチンの有効性解析」
「新型コロナワクチンの有効性解析」
にご協力いただいた方へのお知らせ

研究代表者：東京大学医科学研究所ウイルス感染部門 特任教授
河岡 義裕

東京大学医科学研究所ウイルス感染部門では、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルスの制圧にむけた解析」として、SFTS の予防・治療薬の開発を実施することとなりました。この研究において「インフルエンザワクチンの有効性解析（承認番号：29-72-A0322, 2023-57-1108）」および「新型コロナワクチンの有効性解析（承認番号：2020-74-0226, 2025-78-0202）」の研究で提供していただいた試料と情報を、使わせていただきたく存じます。また、これらの研究にご協力いただく以前に SFTS に罹ったことのある方は、下記 7. の連絡先までご連絡いただけますと幸いです。

ご自身の試料・情報が本研究に用いられることを希望されない場合には、下記 7. の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありませんのでご安心ください。なお、お申し出の時点において、すでに試料・情報を用いた研究結果が論文等で公表されていた場合には、その研究結果については破棄できないことをご了承ください。

1. 研究課題名：重症性熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルスの制圧にむけた解析

2. 研究の対象となる方と用いる試料・情報：

東京大学医科学研究所において、2018 年 3 月以降に実施した「インフルエンザワクチンの有効性解析（承認番号：29-72-A0322, 2023-57-1108）」、2021 年 2 月以降に実施した「新型コロナワクチンの有効性解析（承認番号：2020-74-0226, 2025-78-0202）」の研究にご協力いただいた方の以下の試料・情報を利用させていただきます。

試料：血液

情報：生年月、性別、採血日

3. 研究の目的と方法：

SFTS は高い致死率を示すダニ媒介性感染症で、西日本を中心に患者報告数が増加していますが、有効な治療法は確立されておられません。本研究では、SFTS 回復者の血液検体から B 細胞、抗体産生細胞を単離し、SFTS ウイルスに対するヒトモノクローナル抗体を作製し、抗体薬シーズの創出を行います。また、ウイルスに対する反応性を有する抗体を取得することで、感染防御に重要な抗原部位やヒト免疫応答の理解にもつながることが期待されます。本研究では、対象者の方の試料・情報を用い、SFTS に対する新規治療法開

発の基盤構築を目指しております。なお、東京大学新世代感染症センター以外の共同研究機関への試料・情報の提供はありません。

4. 個人情報の取扱い：

試料・情報には個人を直ちに特定できる情報はつけず、上記の研究でつけられた研究用 ID を引き続きつけて当研究所及び共同研究機関にて利用させていただきます。研究用 ID と個人を特定できる情報を記載した対応表は、当研究所の個人情報保護管理者が厳重に管理します。

5. 研究期間等：

研究期間：2026 年 8 月 5 日～2031 年 6 月 31 日

試料・情報の利用・提供開始予定日：2026 年 8 月 5 日

6. 研究実施体制：

研究代表機関	研究代表者
東京大学医科学研究所	特任教授 河岡 義裕

共同研究機関	研究責任者
東京大学国際高等研究所新世代感染症センター	機構長 河岡義裕
国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所	部長 前田 健
大阪大学大学院医学系研究科	教授 忽那 賢志

* 共同研究機関は追加される可能性があります。

7. ご質問・ご相談、ご辞退のお申し出に関する連絡先

本研究に関するご質問・ご相談、または試料・情報が本研究のために提供及び利用されることを希望されない場合には、下記までご連絡ください。

ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧出来ますのでお申し出ください。

○連絡先

〒108-8639 東京都港区白金台 4－6－1

東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門 担当 岩附 研子

電話:03-6409-2207

FAX:03-5449-5408

E-mail: kenken@ims.u-tokyo.ac.jp

【東京大学医科学研究所】
研究所長名：岩間 厚志
住所：東京都港区白金台 4－6－1
ホームページ： <https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/>
研究倫理支援室： <https://ore-imsut.jp/>